

自然と 冒険スポーツ を満喫



初心者から上級者まで楽しめる「バイクトライアルかぶどん大会&スクール」がキャンパランド新板取で開かれ、県内外から多くの参加者が集まりました。元世界チャンピオンの有園啓剛選手を講師に招き、自転車の操り方、障害物の飛び越え方などを学びま

した。難易度別に5つのクラスに分かれた競技では、後輪だけでバランスを保ちながらジャンプするなど、自転車の妙技を次々と繰り出す人もあり、参加者同士がお互いの技に対してかたずをのんで見守り、その自転車さばきに大きな拍手を送り合っていました。

あんな事、こんな事



除草の手間が省けて助かります

西田原地内に、田んぼのあぜ道から農業用排水路にかけての斜面約100メートルに白くてかわいらしい花が咲いています。ヒメイワダレ草という植物で、西田原農地・水・環境を守る会の皆さんによって植えられました。成長が早く、短期間で地表面を緑一色に覆って花を咲かせることから、雑草が生えにくく景観的にも優れています。今後も花と緑と清流のあるきれいなまちづくりを目指します。

国勢調査にご協力を

「4年に一度のワールドカップ、5年に一度の国勢調査」……日本のこれからのあり方をみんなで描き、考えるその第一歩が国勢調査に参加することです。家庭の状況をきちんと提出することで、国の絵が上がり、そして未来も見えてきます。今年10月1日を調査期日として全国一斉に行われる「国勢調査」について、理解と協力を呼びかけました。





ボランティアの心を養います

日本空手協会岐阜支部のメンバーが武芸川町平の武儀川河川敷で清掃ボランティア活動をしました。けいこ着に身を包んだ幼児から中学生までの子ども約80人と保護者らが、ゴミ袋を片手に1時間かけて花火のごみや空き缶などを拾い集めました。子どもたちは河川環境を学習するとともに、少しでも社会の役に立ち、貢献できる喜びを感じていました。

親子で一緒に塗～り塗り

板取小学校で夏休み恒例の親子奉仕作業があり、全校児童とその保護者や地域のボランティアの方、教職員全員が参加し、教室のワックスがけや運動場の草引き、バイクトライアルコースなどのペンキ塗りをを行い、特に今年は新しいコースを3つ作りしました。2学期が始まり、子どもたちはきれいになった教室や運動場、新しくできたバイクトライアルコースで元気に活動しています。



この夏、チームがーつになった

県中学総合体育大会の軟式野球競技で、37年ぶり2度目の優勝を飾った緑ヶ丘中学校野球部の代表らが市役所を訪れ、尾藤市長に喜びの報告をしました。県内の強豪を相手に機動力を生かして「全員野球」で戦い、9試合を勝ち抜きました。チームがー丸となつてつかみ取った優勝に、選手は達成感と充実感に満ちあふれた「いい顔つき」の表情を見せていました。

口ウと墨で塗～り塗り

篠田桃紅さんの作品を鑑賞して、制作技法の一つである「ろうけつ染め」を体験するワークショップが開かれました。溶けたみつ口ウを紙の上に筆で塗り、その上から墨を塗ると、口ウの部分だけ墨がはじかれて浮き上がったように見えます。参加者はこの技法を使ってとてもおもしろい作品を仕上げました。最後は掛け軸にして完成。これからも美術空間では、楽しいワークショップを予定しています。



こぼれ話



先日、ナイフ作家の原幸治さんの元へ職場体験で来ていた関有知高校2年生の男子生徒3人の取材に行ってきました。当然のことながら3人ともナイフの製作は初めてのことで、原さんに教わりながらナイフを作り上げていきます。ちょっとした気のゆるみから失敗をし、その工程を始めからやり直すこともありましたが、常に真剣な表情で取り組んでいました。3日間という短い期間であるため、全工程を本来のやりかたで……という訳には

いかないところもあるようでしたが、それぞれが、自分の思うように手がけたナイフが少しずつ出来上がっていくことに「モノづくり」の難しさ、厳しさ、楽しさを実感しているようでした。

職場体験は、将来の自分像を見つけるよいきっかけになることはもちろんですが、地場産業の後継者を育てるきっかけにもなります。

出来上がったナイフは10月9日～10日の刃物まつりで開催されるアウトドアナイフショーで展示される予定ですので、皆さんぜひご覧ください。